だざいふ 議会だより

令和8年9月定例会



定例会は年に4回









議会を傍聴してみませんか

本会議は51人、委員会は12人まで傍聴できます。また、議会のライブ配信も行っています。詳しくは議会事務局までご確認ください。

12月定例会の日程（予定） 会議の開始時刻は午前10時からです

日	月	火	水	木	金	土
11/29	30	12/1	2	3	4	5
			本会議 市長提案 理由説明		本会議 質疑・委員会 付託	
6	7	8	9	10	11	12
		総務文教 常任委員会	環境厚生 常任委員会	建設経済 常任委員会		
13	14	15	16	17	18	19
		本会議 一般質問	本会議 一般質問	本会議 一般質問 （予備日）		
20	21	22	23	24	25	26
	本会議 委員長報告・質疑 討論・採決					

市議会HP

市議会ライブ配信

決算特別委員会 …… 36P
9月定例会リポート …… 38P
議決結果一覧 …… 39P
一般質問（個人質問） …… 40P
常任委員会所管調査報告 … 47P
意見交換会のお知らせ …… 48P

発行：福岡県太宰府市議会　　編集：議会広報特別委員会　　令和８年11月

令和７年度 各会計の決算を認定しました



決算特別委員会において、一般会計、６特別会計、２企業会計の決算審査を行い、９月18日の本会議において認定・可決されました。



令和７年度決算のココに注目！

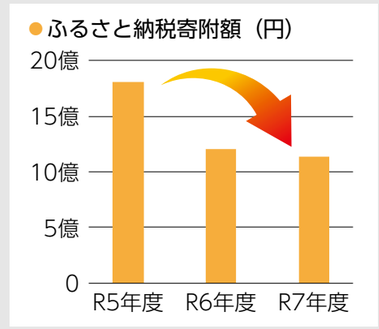
議会が注目した一般会計決算の３項目について、執行部から内容説明を受け、全議員で構成する決算特別員会で、集中的に審査を行いました。

その１　ふるさと太宰府応援寄附（ふるさと納税）について

ふるさと納税は、応援したい自治体への寄附額のうち2,000円を超える部分が、所得税と住民税から原則全額控除される制度です。

本市でも財源確保に向け、24のポータルサイトでの受付や、本市および福岡県の特産品を返礼品として送る取り組みを継続してきました。

その結果、令和７年度は約11億3,000万円の寄附をいただきました。なお、返礼品やサイト委託料などの必要経費として、約６億円を支出しています。



Q 保護者が負担する給食費（食材費負担分）はいくらか。

A 小学校は6,150円／月、中学校は7,250円／月です。

Q ふるさと納税寄附の収支額はいくらか。

A 市に残る実質額は、約４億６千万円です。

Q 寄附額が減少傾向にある理由は。

A ふるさと納税の受入額が好調な他自治体と比較して、本市独自の返礼品の魅力向上や差別化が十分に図れていない点が課題であると認識しています。

Q 太宰府市独自の返礼品の割合は。

A 返礼品の約52％が本市にかかわる返礼品です。

Q 寄附額の減少に対する拡大策はあるか。

A ポータルサイトの拡充や新たな返礼品の開発、さらには市内限定で決済・利用できる「旅先納税」などの取り組みを進めていきます。

●ふるさと納税人気返礼品

福岡県産品	太宰府産品
●辛子明太子	●梅ケ枝餅
●あまおう（苺）	●正月料理
●豚骨ラーメン	●アウトドア用品
●もつ鍋	●ペット用品



その２　中学校給食の調理配送業務委託について

本事業は、令和６年度より市内４中学校の学校給食業務（調理・配送等）を民間事業者「日米クック」に委託し、安全・安定的に給食を供給するものです。

令和７年１月に実施したアンケートでは、「満足・やや満足・普通」の回答が生徒75％、保護者90％に上り、特に保護者から高く評価されています。


日米クック給食センター



Q 保護者が負担する給食費（食材費負担分）はいくらか。

A 小学校は6,150円／月、中学校は7,250円／月です。

Q 委託先の日米クック給食センターの点検状況は。

A 栄養士（市の職員）が行っています。

その３　公共施設整備基金について

公共施設整備基金は、公共施設等の計画的な整備促進を図ることを目的としています。公共施設の老朽化に伴う今後の改修や更新、長寿命化などに備えるためのものです。

各施設の空調設備更新や照明器具のLED化改修工事などにも充当しており、近年では猛暑の影響による空調設備の設置要望が増加傾向にあります。


体育館の空調設備

Q 今後の公共施設の再編にこの基金を充当するのか。

A 基金の充当に加え、国・県の補助金やPFI等による官民連携、有利な市債の活用を検討していきます。

こんな質疑もありました！



Q 前市長のウズベキスタン訪問について、要した費用と訪問の詳細は。

A 旅費は約164万円（市長他１名分）です。令和７年６月23日～27日の日程で、ナマンガン市の視察と国際フラワーフェスティバルに招待され参加しました。

Q 今後もナマンガン市との交流を継続するのか。

A 今のところウズベキスタンへの渡航は非常に費用がかかるため、交流を継続するのは難しいと考えています。



Q 一般競争入札の対象が本市は1.5億円超だが、近隣市は5,000万円超である。この設定金額への認識は。

A 本来、入札は一般競争入札で実施すべきであると考え、近隣市の動向等を調査しつつ、今後の運用のあり方を研究していきます。

9月 定例会リポート

○第３回定例会（令和８年８月27日～９月18日）　会期23日間

○人事

◆人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて　適任

人権擁護委員に鎌石洋子氏、木村千鶴氏、馬場礼子氏の3名を適任と答申しました。
《諮問第２号、第３号、第４号》

○財産の取得

◆財産の取得（太宰府市緑地保護地区内）について　可決

大佐野緑地公有化事業として、大佐野地区の山林14筆、合計2万6,033㎡を5,116万4,720円で取得するものです。水源涵養機能の保全や乱開発、不法投棄の防止などを目的に、計画的に緑地の公有化を進めています。《議案第44号》

○条例

◆太宰府市印鑑条例の一部を改正する条例について　原案可決

出入国管理及び難民認定法等の改正に伴い、印鑑登録原票を電磁的記録で登録することを可能とするとともに、特定在留カードや特定特別永住者証明書などに対応するため改正するものです。《議案第48号》

◆太宰府市特別職の職員の給与等に関する条例の特例に関する条例の制定について　原案可決

市職員の不祥事に対する三役としての責任の明確化を図るため、市長の給料月額を令和８年10月から12月まで10％減額し、副市長及び教育長の令和８年10月分の給料月額を10％減額するものです。《議案第55号》

○意見書

◆非核三原則の堅持を求める意見書　原案可決

国会及び政府に対し、安全保障３文書の見直し等の議論において、非核三原則を未来にわたり堅持し、「核兵器に依存しない平和」の実現に向け主導的役割を果たすよう求めるものです。《意見書第２号》

○令和８年度一般会計補正予算（第３号）（第４号）

◆歳入・歳出それぞれ 9億9,673万3千円を追加し、総額は350億1,646万1千円になりました。　原案可決

費　目	補正予算額	主　な　事　業　と　予　算　額
総務費	3億8,068万円	**公共施設等総合管理計画実施計画策定支援業務委託料：179万2千円** **DX推進のための相談･助言をするCIO補佐業務委託料：400万円** **令和の都太宰府ふるさと納税基金積立金：3億2,275万3千円**
民生費	5億7,132万8千円	**高齢者エアコン購入費補助金：600万円** **人権センター等整備検討委員会** **基本構想策定支援業務委託料：567万6千円** **地域福祉基金積立金：3億5,000万円**
衛生費	30万円	**飼い主のいない猫不妊去勢手術費補助金：30万円**
商工費	3,083万9千円	**LPガス価格高騰対策補助金：2,713万2千円** **太宰府館工事請負費：370万7千円** 太宰府館前の開渠になっている水路部分を埋め戻し、本来の水路の形状に改修するものです。
土木費	400万円	**地域公共交通費代替交通運行補助金：400万円** まほろば号の交通空白への代替交通運行に向けた費用です。
教育費	858万6千円	**文化財保存修理整備工事：858万6千円** 県の東観世音寺寺地区治山事業実施に付帯した保全工事です。

※主な予算のみ掲載しています。

○令和８年度水道事業会計補正予算（第１号）

◆会計予算第５条に定めた債務負担行為として、水城配水池更新工事の令和９年度までの限度額に3,474万3千円を追加し、1億2,830万4千円になりました。　原案可決

９月定例会 全会一致で可決した議案

議案番号等	案件名	議決結果
諮問第 2号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	適任
諮問第 3号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	適任
諮問第 4号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	適任
議案第44号	財産の取得（太宰府市緑地保護地区内）について	可決
議案第45号	太宰府市行政手続条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第46号	太宰府市監査委員条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第47号	太宰府市重度障がい者医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第48号	太宰府市印鑑条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第49号	太宰府市水道事業及び公共下水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第50号	令和８年度太宰府市一般会計補正予算（第３号）について	原案可決
議案第51号	令和８年度太宰府市国民健康保険事業特別会計補正予算（第１号）について	原案可決
議案第52号	令和８年度太宰府市介護保険事業特別会計補正予算（第２号）について	原案可決
議案第53号	令和８年度太宰府市住宅新築資金等貸付事業特別会計補正予算（第１号）について	原案可決
議案第54号	令和８年度太宰府市水道事業会計補正予算（第１号）について	原案可決
認定第 2号	令和７年度太宰府市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定
認定第 3号	令和７年度太宰府市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	認定
認定第 4号	令和７年度太宰府市介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定
認定第 5号	令和７年度太宰府市住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定
認定第 6号	令和７年度筑紫地区障害支援区分等審査会事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定
認定第 7号	令和７年度筑紫地区介護認定審査会事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定
認定第 8号	令和７年度太宰府市水道事業会計剰余金の処分及び決算認定について	原案可決及び認定
認定第 9号	令和７年度太宰府市下水道事業会計剰余金の処分及び決算認定について	原案可決及び認定
報告第 9号	令和７年度太宰府市健全化判断比率の報告について	—
報告第10号	令和７年度太宰府市水道事業会計資金不足比率の報告について	—
報告第11号	令和７年度太宰府市下水道事業会計資金不足比率の報告について	—
報告第12号	太宰府市土地開発公社の経営状況報告について	—
報告第13号	公益財団法人太宰府市国際交流協会の経営状況報告について	—
報告第14号	公益財団法人太宰府市文化スポーツ振興財団の経営状況報告について	—
議案第55号	太宰府市特別職の職員の給与等に関する条例の特例に関する条例の制定について	原案可決
議案第56号	令和８年度太宰府市一般会計補正予算（第４号）について	原案可決
意見書第2号	非核三原則の堅持を求める意見書	原案可決

９月定例会 賛否の分かれた議案

（個人ごとの表決結果を賛成○、反対×で表しています）

議案番号等	案件名	議決結果	公明党		宰光			新風		次世代の鐘		すまいる太宰府		太宰府市民の声	ネクスト太宰府		未来のまち			無所属
			堺 剛	小畠真由美	陶山 良尚	原田久美子	入江 寿	門田 直樹	今泉 義文	笠利 毅	川口 親丸	原 紳次郎	岡林 直人	長谷川公成	久和 満晴	馬場 礼子	瀬筒 義久	タコスキッド	木村 彰人	神武 綾
認定第 1号	令和７年度太宰府市一般会計歳入歳出決算認定について	認定	○	※	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×

※小畠真由美議長は本会議における過半数議決では表決権を有しません。

9月定例会リポート／議決結果一覧

質問を行った議員名と質問項目および原則として最初の質問項目と回答内容の要約を掲載しています。



問 技術系職員の人材育成と組織体制の充実を

木村（きむら） 彰人（あきと） 議員

Q 技術系職域（土木職・建築職等）の強化は、公共施設の更新や都市再編、災害対応など、今後の行政運営を支える重要な課題である。全国的に技術系人材の確保が難しくなる中、本市でも必要な人材の確保は十分とは言えず、将来的な技術力の低下が懸念されるため3点伺う。

①土木職の技術力向上・技術継承の現状認識は。

②都市計画課13人のうち土木職が2人にとどまることによる行政リスクと、技術職配置の検討は。

③近隣自治体との技術職の相互交流による技術力強化の可能性は。

A ①土木技師は、道路・河川・公園・上下水道・学校施設の改修など多岐にわたる業務を担い、OJT（On-the-Job Training）や福岡県等の研修会で知識・技能の習得を図っています。

②都市計画課、建設課、上下水道施設課、管財課、文化財課など各部署に土木技師が必要と認識し、業務量や市役所全体の職員配置のバランスを考慮して配置しています。

③近隣自治体との職員交流は人材育成や広域連携に資するため、筑紫地区では情報交換や共同研修などを行い、今後も様々な手法を検討します。



全質問項目
- ◇技術系職域の充実と組織体制の見直しについて
- ◇指定管理者制度における監督力の強化について

録画映像はこちら



問 南小学校区の中学生に学習スペースの確保求める

長谷川（はせがわ） 公成（こうせい） 議員

Q 本市においては公共施設を活用した学習スペースが限られており、特に南小学校区内においては学習スペースが十分に確保されていない状況である。そのため、同校区の中学生は近隣自治体の施設やいきいき情報センターなどを利用しており、学習スペースまでの移動の負担が生じている。

そこで、南コミュニティセンター多目的ホールの空き時間帯を、学習スペースとして開放できないか伺う。

A 現状、多目的ホールを静かな学習スペースとして常時提供することは、以下の諸課題により困難な状況です。

・定期利用団体の利用時間は学習スペースとしての確保ができないこと。

・地域住民へ無料開放している時間帯は学習以外の目的で利用される方もいること。

・会議室等での楽器練習による音の影響があり、静かな環境を保ちにくいこと。

・学校施設のため、急な利用制限が発生する場合があること。

今後は、予約のない時間帯の有効活用を含め、学校や自治会とも十分協議の上で検討していきたいと考えています。



全質問項目
- ◇太宰府南コミュニティセンターを活用した学習スペースの確保について
- ◇市民一斉避難訓練等の実施について

録画映像はこちら

質問を行った議員名と質問項目および原則として最初の質問項目と回答内容の要約を掲載しています。



問 西鉄都府楼前駅周辺請願書の今後の展望は

原（はら） 紳次郎（しんじろう） 議員

Q 6月議会で全会一致で採択された請願書は、第二次都市計画マスタープランにおける西鉄都府楼前駅周辺の位置づけを明確にし、西鉄五条駅周辺との役割分担を踏まえた持続可能なまちづくりを求めるもの。また、当該地は生活の拠点・太宰府の歴史の玄関口として活性化が期待できるエリアである。この請願への現時点の対応等について2点伺う。

①請願に対する現時点での対応状況は。

②市の方針、方向性、検討委員会などの具体的な検討の予定は。

A ①請願書は議会から市長に送付され、請願内容に関わる部署も含め回覧を行い、回覧が完了したところです。

②第二次太宰府市都市計画マスタープランの改定作業において、立地適正化計画との整合性も含めた検討を行うこととしています。現在、改定業務に係る委託契約を締結し、市民ニーズの分析作業に着手しており、今後、市民、庁内策定委員会、法定の都市計画審議会などの意見を賜り、議論しながら進めていくこととしています。



西鉄都府楼前駅

全質問項目
- ◇請願書への対応について
- ◇多目的広場の管理運営状況について
- ◇ため池マップと災害対策について

録画映像はこちら



問 小規模・中小企業、個人事業主に支援を

神武（こうたけ） 綾（あや） 議員

Q 中東情勢の悪化やホルムズ海峡の閉鎖により、物価高騰と資材不足、金利上昇によって経営が圧迫され、倒産・廃業が広がっている。1年前に制定された太宰府市小規模・中小企業振興条例を生きた条例にするために指摘した内容について、調査研究を行うという前向きな回答を受けたが、その後の進捗を2点伺う。

①中小企業振興推進計画の策定、条例推進に関わる会議体の設置の進捗について

②物価高騰、経営支援に関する事業推進について

A ①ホームページや広報紙で条例制定及び内容を周知し、他自治体の中小企業振興推進計画の事例収集などの検討を重ねる一方で、推進計画の策定及び会議体の設置については、引き続き調査研究を進めています。

②LPガス価格高騰対策事業や運送事業者原油価格高騰対策事業を実施したほか、がんばる中小企業応援補助金の交付、事業資金支援融資制度、融資を受ける際に信用保証協会に支払う保証料の全額補助の継続、セーフティネット保証制度の認定についても随時対応しています。



全質問項目
- ◇小規模・中小企業、個人事業主の支援について
- ◇子どもの意見表明権について

録画映像はこちら

質問を行った議員名と質問項目および原則として最初の質問項目と回答内容の要約を掲載しています。



問 想定外とは言わせない
瀬筒 義久 議員

Q 最新の地震被害想定では、大地震が発生した場合、太宰府市において最大深度7、死者数は最大で約300人という厳しい数字が示された。そこで、大地震発生時の防災体制について4点伺う。

①最新の地震被害想定と発災時の初動対応について

②避難所の受入れ体制、備蓄品及び避難生活環境について

③観光客・帰宅困難者への対応と広域的な支援体制について

④防災無線を含む災害情報伝達体制の実効性について

A ①震度7の大規模地震が発生した場合、全職員が自主参集することとなっており、市長をトップに災害対策本部を設置し、全9班体制で一斉に災害対応に従事します。

②指定避難所をはじめ、指定緊急避難場所など全ての避難所を開設し、6000人程度の避難者を受け入れます。また、物資については全7施設に分散備蓄しています。

③「太宰府市観光危機管理マニュアル」を策定しており、迅速に対応できる体制の構築・整備に取り組みます。

④複数の情報伝達手段を確保し、停電時でも情報発信ができる体制を整えています。



警固断層帯

全質問項目
- ◇大規模地震発生時の防災体制について
- ◇市職員が安心して能力を発揮できる人事行政について
- ◇包括連携協定の実効性と成果検証及び今後の展開について

録画映像はこちら

問 市は、プレコンセプションケアをどう考えるか
馬場 礼子 議員

Q 若年層のヘルスケアとプレコンセプションケアについて伺う。

①若者の月経困難症や検診受診率向上等、健康課題の認識について

②市公式LINE、出前講座を活用したプレコンセプションケアの周知、相談体制の必要性について

A ①若年層の健康診査の受診については、市で実施している一般健診以外で受診される方もおられることから、全体の受診状況を把握することは難しい状況です。

また、月経困難症についても確認できる範囲において市への相談はなく、実態が把握できていない状況です。

②こども家庭庁が実施した調査では、若い世代におけるプレコンセプションケアの概念の認知度は約15％と低く、若い世代がプレコンセプションケアの概念及び相談窓口を知ることは重要であると考えています。今後は、市の公式LINEやホームページを活用し周知を図っていきます。



プレコンセプションケアとは、性別を問わず、適切な時期に、性や健康に関する正しい知識を持ち、妊娠・出産を含めたライフデザインや将来の健康を考えて健康管理を行う取り組みのことです。

全質問項目
- ◇若年層を取り巻く健康課題の現状と「プレコンセプションケア」について

録画映像はこちら

質問を行った議員名と質問項目および原則として最初の質問項目と回答内容の要約を掲載しています。



問 歴史の散歩道の今後は
原田 久美子 議員

Q 歴史の散歩道環境整備事業は平成22年から令和4年までの計画とされており、令和になり、坂本八幡宮付近は道路等が整備されたが、太宰府天満宮に至る歴史の散歩道は、いまだに整備が進んでいないように見受けられる。

今後の歴史の散歩道環境整備事業について、国の交付金の活用も含め、整備をどのように進めていこうと考えているのか見解を伺う。

A 平成22年に認定を受けた歴史的風致維持向上計画において、歴史の散歩道環境整備事業と位置づけ、交付金を活用した再整備を予定していましたが、事業の財源として見込んでいた交付金の交付率の低下等により、事業実施までは至っていないのが現状です。

現在、歴史的風致維持向上計画については、令和5年度から第2期に入り、歴史の散歩道環境整備事業については、改めて交付金の活用のほか新たな財源確保について国及び県から情報収集を行うなど、事業実施に向けて鋭意検討を重ねているところです。


歴史の散歩道

全質問項目
- ◇歴史の散歩道について
- ◇国道3号バイパス歩道の植込みについて

録画映像はこちら



問 災害時の避難体制をどう整えるのか
タコスキッド 議員

Q 地震、台風、豪雨など、私たちを取り巻く自然環境は年々厳しさを増している。災害はいつ、どこで、誰が被災するか分からない中、早期避難のハードルを下げ、少しでもストレスなく快適に過ごせる避難所の環境づくりについて5点伺う。

①食料や簡易寝具を持たずとも自主避難できる環境整備の考えは。

②警固断層帯による地震発生時の被害想定は。

③ペット同行避難の状況と課題は。

④観光客の避難で想定される課題と対応策は。

⑤災害関連死を防ぐ、または減らすための具体的対策は。

A ①自主避難所は避難情報発令前に開設し、食料や寝具等は原則各自で準備いただくようにお願いしており、今後、対応を調査研究・検討します。

②県の最新の発表では、本市で建物全壊・全焼約4500棟、死者約300人、避難者約2万1000人が想定されます。

③ペット同行避難は松川運動公園体育館で受入れます。大きさや種類、感染症、衛生管理、アレルギー対策等が課題です。

④一時退避場所、避難誘導、多言語情報、帰宅困難者対応等を進めます。

⑤避難所のバリアフリー化、空調、衛生対策、健康管理、精神的ケア等を想定しています。


避難所

全質問項目
- ◇災害時の対応について
- ◇松川体育館の雨漏りおよび設備について

録画映像はこちら

質問を行った議員名と質問項目および原則として最初の質問項目と回答内容の要約を掲載しています。



問 カーブミラーの適正な管理で地域の安全を守れ

久和（くわ） 満晴（みつはる） 議員

Q カーブミラーは見通しの悪いカーブや交差点に設置され、自動車や自転車、歩行者の接近を確認するための安全対策用品である。そこで、本市におけるカーブミラーの管理について2点伺う。

①カーブミラーの設置基準、耐用年数および設置後の経過年数の状況について

②カーブミラーの維持管理状況について

A ①本市独自の設置基準に基づき、交差点やカーブ等で建物や壁等の影響により見通しが悪く、死角が大きい箇所に、地域の状況や視認性を考慮して設置しています。耐用年数は材質等により概ね10年です。なお、設置後の経過年数については、設置数が膨大なため把握していません。

②維持管理については、市民等の皆様からの通報を受け次第速やかに現場を確認し、ミラーの角度の調整を行うほか、専門業者に依頼して交換等の措置を行っています。今後とも、市民の安全を守るため、カーブミラーの維持管理につきまして、迅速かつ適正な対応に努めてまいります。

全質問項目
- ◇市が設置しているカーブミラーの管理について
- ◇元気づくりポイント事業のリニューアルについて



録画映像はこちら



問 歳入を増やすための施策を

岡林（おかばやし） 直人（なおと） 議員

Q 太宰府という名称は全国的にも名前が通っており、太宰府という名を聞けば誰もが本市のことを思い浮かべるほど、その名称には強力なブランド力がある。しかしながら、本市はそのブランド力を十分に生かし切ることができていないように感じる。

そこで、太宰府のブランド力を生かし、本市の歳入を増やすための施策について3点伺う。

①令和の都だざいふ応援大使「おとものタビット」の活用について

②公共施設等へのネーミングライツ事業について

③本市特産品の活用について

A ①「ゆるバース2025」で全国299キャラの中で77位を獲得し、県内から全国区まで本市をPRしています。ノベルティーグッズの販売方法、価格設定等々については調査研究いたします。

②令和7年8月の募集開始から、実際の契約には至っておりません。企業版ふるさと納税や包括連携締結先等へ募集案内を送付し、検討をお願いしています。

③「令和の都だざいふ『梅』プロジェクト」として、史跡地で実った梅を原料とした製品開発を推進し、令和3年以降、41品目の製品まで拡大するなど、特産品としてのブランディングが期待できるものと考えています。

全質問項目
- ◇歳入を増やすための施策について



おとものタビット

録画映像はこちら

質問を行った議員名と質問項目および原則として最初の質問項目と回答内容の要約を掲載しています。



問 総合計画の策定の展望は

笠利（かさり） 毅（つよし） 議員

Q 長期的なまちのビジョンを共有することが総合計画の策定の目的であり、市長の掲げる「新たな一歩 未来につなぐ太宰府」を実現するためには不可欠である。総合計画を策定することは、前市長と対照すると大きな変化ではあるが、従前の総合計画が陥りがちな危うさに市長は気づいていると思われる。総合計画の策定について3点伺う。

①行政プロセスの中での位置づけは。

②いつまでに策定するのか。

③どのような方法で策定するのか。

A ①本市の未来像と方向性を示す重要な指針であると考えています。

②一般的には2年から3年程度の期間をかけて策定する例が多く、丁寧な議論を重ねる必要があり、検討が不十分にならないよう総合計画審議会で議論し、決定する予定です。

③市民参画、総合計画審議会、庁内の策定委員会を連動・連携して進めます。策定委員会が素案をとりまとめ、市民の意見や審議会の議論を踏まえて修正・精査し、総合計画を作り上げていきます。

全質問項目
- ◇総合計画の策定について
- ◇太宰府市自治基本条例について
- ◇のるーと太宰府の実証運行について



太宰府市役所

録画映像はこちら



問 備えあれば憂いなし

入江（いりえ） 寿（ひさし） 議員

Q 私たちが住む太宰府市には、危険度Sにランク付けされている警固断層帯が走っている。そこで、地震発生時の本市の対応について3点伺う。

①震度7クラスの地震が起きたと想定した場合の避難所運営や避難者支援、道路などの公共インフラの復旧について、市はどのように考えて準備をしているか。

②準備が整っている場合、どの程度の対策や計画ができているか。

③警固断層帯の割れ残り箇所の地震について、住民への説明や避難訓練等の具体的な計画はあるか。

A ①大規模地震が発生した場合、指定避難所や指定緊急避難場所など全ての避難所を開設するとともに、各種災害協定などによる様々な支援を活用し、一人でも多くの避難者を受け入れます。また、避難生活支援については、食事や物資の提供、体調や衛生管理など避難者の皆様に寄り添って対応します。

②道路などの公共インフラの復旧などについては、民間業者と災害協定を締結しており、有事の際は協定に基づき、応急対応・復旧を行います。

③今後の避難訓練については、地区単位での分散訓練による実施などについて検討を行っています。

全質問項目
- ◇地震や台風等自然災害発生時の市の対応について
- ◇災害発生時に自助が難しい幼児や児童をどう守るかについて



避難訓練の様子

録画映像はこちら

質問を行った議員名と質問項目および原則として最初の質問項目と回答内容の要約を掲載しています。

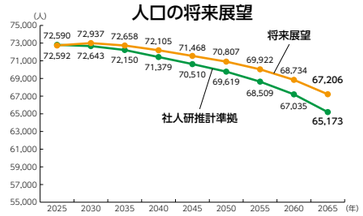


問 人口維持のために長期的な視点を持て　今泉（いまいずみ）義文（よしふみ）議員

Q 人口を維持するための長期的な視点に立った対策について3点伺う。
①人口、出生・死亡、転入・転出の推移をどのように分析し、特にどの年代の転出入を課題として認識しているか。
②人口規模を維持するために、若者や子育て世代の定住促進についてどのような施策を重点的に進めようと考えているか。
③人口維持・定住促進の観点から、住宅政策、宅地確保、交通利便性、子育て支援、雇用、企業誘致などを一体的に進める必要があると考えるが市の見解は。

A ①少子高齢化により自然減の傾向が強まる中、20代から30代のいわゆる子育て世代や若年層の動向が、将来的な出生や定住の点から本市の中長期的な人口構造に影響するものと考えています。
②民間投資の促進による住宅の拡充や就業機会の創出、子育て・教育環境の充実といった施策を重点的に進めることが重要であると考えています。
③人口維持・定住促進には住宅・宅地、交通、子育て支援、雇用・産業政策などを総合的に連携させることが重要であると認識しており

全質問項目
◇人口７万人を維持するための未来戦略について
◇生活道路の老朽化対策と維持補修の拡充について



出典：広報だざいふ 2025.10（令和７年）

録画映像はこちら



問 令和8年熊本地震後の本市の災害対応は　川口（かわぐち）親丸（ちかまる）議員

Q 熊本地震で得た教訓を本市の災害対応に生かすため、3点伺う。
①熊本地震の教訓を本市の各種防災計画や災害対応に反映させる考えについて
②避難所の生活環境と支援体制について
③大規模災害時における物資、人員等の体制及び復旧、生活再建について

A ①本市の各種防災計画や災害対応に反映させるよう考えています。
②避難所の生活環境については、ワンタッチテントの備蓄を順次進めています。また、指定避難所でもある小中学校の体育館には、冷暖房システムを導入するなど取り組んでいます。
　また、避難生活の支援については、食事や物資の提供はもとより、体調や衛生管理など多種多様な支援が必要になります。避難者の皆様に寄り添った対応に努めていきます。
③物資の備蓄などについては、現在、全7施設に分散して備蓄しています。
　市職員の参集については、震度7の大規模地震が発生した場合、全職員が市役所に自主的に参集することとなっています。復旧、生活再建については、他市からの応援職員などの力も借りながら、全力で復旧復興に努めていきたいと考えます。

全質問項目
◇令和８年熊本地震を踏まえた本市の災害対応について
◇若者の経済的負担軽減と定住支援について



録画映像はこちら

所管調査報告

総務文教常任委員会

日にち：７月10日㈮
調査先：太宰府南小学校、太宰府南コミュニティセンター、大宰府展示館、太宰府市歴史スポーツ公園

太宰府南小学校は、授業の効率化及び教職員の働き方改革が進み、残業時間が少なくなってきているとのことでした。また、PTA加入率100％を維持し、地域・保護者・教職員の努力をうかがうことができました。

太宰府南コミュニティセンターは太宰府南小学校と併設しており、地域参画として良い取組がなされていました。学習ルームの設置、駐車場確保が課題であると感じました。

大宰府展示館は、看板が目立ちづらいなどの課題があり、アイデア次第でより一層の来客が見込める要素をもつ施設であると感じました。

太宰府市歴史スポーツ公園は平成元年開園と古く、全体的に計画的なメンテナンスが必要であると感じました。また、公園なのか競技場なのか曖昧なままで、今後協議する必要があります。


歴史スポーツ公園の調査の様子

環境厚生常任委員会

日にち：７月15日㈬
調査先：二日市カトリック幼稚園、太宰府市シルバー人材センター、
太宰府東第二学童保育所、太宰府市環境美化センター

二日市カトリック幼稚園では、児童発達支援事業所に通う子どもが25～30％いる実情や、「こども誰でも通園制度」への対応、制度対象外となる３歳以上の子どもへの独自対応、それに伴う職員負担を確認しました。

シルバー人材センターは、会員数が増える中、発注や職種の拡大、福祉分野との連携による活躍の場づくりが課題です。

学童保育所では、ICTによる出欠・保護者連絡の効率化や熱中症指数計の活用など、安全管理の工夫を確認しました。

環境美化センターでは、手作業による分別負担に加え、埋立地の残余容量が約30％という課題も把握しました。

現場で得た具体的な課題を、今後の審査や施策提言に反映していきます。

環境美化センターの調査の様子

建設経済常任委員会

日にち：７月17日㈮
調査先：太宰府市上下水道センター、松川浄水場、
独立行政法人水資源機構　筑後川下流総合管理所　福岡導水管理所

【太宰府市上下水道センター、松川浄水場】

太宰府市では、自己水源（松川ダム・北谷ダム・大佐野ダム）と企業団からの受水（福岡地区水道企業団・山神水道企業団）を組み合わせて、安定した給水が行われています。原水が安全な水道水になるまでの流れを松川浄水場で見学しました。施設の老朽化や経営の健全化など今後の課題にも取り組んでいく必要があります。

【独立行政法人水資源機構　筑後川下流総合管理所　福岡導水管理所】

福岡都市圏の人口増加に伴う水道用水の需要増加に対処するものとして、筑後川水系水資源開発基本計画（昭和49年７月閣議決定）に基づき、昭和58年に25kmの導水路が完成して、福岡都市圏の10市６町及び佐賀県基山町への水道水を供給しています。

こちらの施設も今後老朽化対策・地震対策が必要になります。


福岡導水管理所の調査の様子

まちの未来をみんなで語ろう

令和８年度　太宰府市議会

市民と議会の意見交換会

令和8年 11月15日(日)

●時　間　13:00 ～ 16:00（開場12:30）

●場　所　いきいき情報センター 2階 研修室（五条三丁目1番1号）

●定　員　申し込み不要でどなたでもご参加いただけます。

●内　容　13:00 ～ 13:05（ 5分間）　開会行事

13:10 ～ 14:00（50分間）
14:10 ～ 15:00（50分間）
15:10 ～ 16:00（50分間）　常任委員会ごとに分かれて意見交換

「市民と議会の意見交換会」を開催いたします！
私たちの住む太宰府のまちについて、あなたの声をお聞かせください。
議員一同、皆様のお越しをお待ちしています。



総務文教
自治会・防災
学校教育・歴史文化 など



建設経済
交通・観光・公園
地域経済 など



環境厚生
介護・子育て・健康
社会保障 など



託児サービスをご希望の方は、**11月６日(金)**までに**議会事務局**までお申し込みください。

◇編集後記◇

令和8年定例会は3月、6月、9月の3回が終了しました。

3月は令和8年度の予算の議決、9月は令和7年度の決算を議決しました。

今回の議会だよりでは、令和7年度の決算における予算に対する事業及び効果の確認を行い、適切に執行されたかをチェックし、問題、課題は何かを考え、議論しました。

そして、次の令和9年度の予算に向け、適正な予算配分と目的・期待効果を十分に話しあっていくよう準備と研究を進めていきたいと思います。

一方、各地では熊本の震災、関東・千葉の豪雨災害により、甚大な被害を受け、不自由な生活をされています。

お亡くなりになられた方、被害を受けられた方に、お悔み、お見舞い申し上げます。

9月定例会では災害対策への一般質問が6件行われるなど、自治体に防災・減災への対応・対策が求められる中、市議会との意見交換会を11月15日(日)午後1時から、いきいき情報センターにて開催します。みなさんと共に考えていきたいと思います。

（原　紳次郎）

発行責任者
議　長　小畠　真由美

議会広報特別委員会
委員長　タコスキッド
副委員長　瀬筒　義久
委　員　木村　彰人
委　員　今泉　義文
委　員　原　紳次郎
委　員　岡林　直人
委　員　久和　満晴

太宰府市議会事務局　〒818-0198　福岡県太宰府市観世音寺一丁目1番1号　☎092(921)2121(代表)
ホームページアドレス　https://www.city.dazaifu.lg.jp/